



なないろの思いをつなぐ
架け橋でありつづけたい

Vol.20

- 2018年度の労連活動を振り返って
- 2018年度の労連諸活動報告
- 2018年度の単組活動を振り返って
(今期取り組んだトピックス活動報告)

「創造への挑戦 真のワークライフバランスの 実現を目指して」

2018年度 活動方針

今年度は「創造への挑戦 真のワークライフバランスの実現を目指して」を活動のスローガンに掲げ、活動を推進してきました。ここ数年は社会環境変化著しい時代にあるなかで、既成概念に捉われることなく、新たなことに果敢に挑戦し、真の強い組織づくりを目指した活動に取り組んできました。セブン&アイHLDGS.の規模拡大、成長とともに、今の時代に即したグループ労連としての役割と向き合いながら、加盟組合・各企業における労働条件の向上や働きがい・やりがいのある職場環境づくりを目指して、労連に集う組合と組合員それぞれの真のワークライフバランスの実現に向けて取り組んできました。「企業の成長と発展」「個々の働きがいと生きがい」を実現していくために、健全な労使関係からの対話機会を充実させ、労働条件や職場環境改善を目指すことが重要であり、労使協働に取り組むその先に働く組合員が誇りの持てる、魅力にあふれた流通サービスグループへの成長と発展があるとの考えから、活動を推進するための6つの柱を掲げ、活動を展開してきました。

■2018年春季労働条件交渉 妥結状況

| 組織名 | 賃金改定額計 | 率 | ベア・賃金改善額 | 率 |
|----------------|--------|------|----------|------|
| イトーヨーカドー | 6,332 | 1.78 | 2,000 | 0.56 |
| セブン&アイフードシステムズ | 5,562 | 1.82 | 1,281 | 0.42 |
| ヨークマート | 5,272 | 1.74 | 1,800 | 0.59 |
| 全丸大 | 4,141 | 1.15 | 283 | 0.08 |
| サンエー | 3,564 | 1.47 | 1,064 | 0.44 |
| ヨークベニマル | 7,684 | 2.56 | 4,088 | 1.36 |
| そごう・西武 | 6,615 | 1.96 | 1,052 | 0.31 |
| 赤ちゃん本舗 | 6,085 | 2.18 | 2,391 | 0.86 |
| ライフフーズ | 5,799 | 2.09 | 4,077 | 1.47 |
| ロフト | 6,700 | 2.55 | — | — |
| シェルガーデン | 6,029 | 2.20 | 1,579 | 0.58 |

(金額：円・率：%)

◇2018春季労働条件交渉

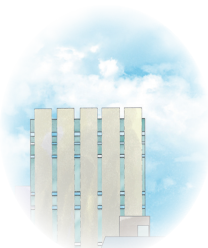
今

年度の情勢は企業収益が最高益を更新するなか、消費者物価の上昇基調も追い風に上部団体は定期昇給に加えベアと合わせて4%を要請、社会全体が「ベア・賃上」ムードとなりました。しかし足元の各事業会社ごとの業績は差異があるなか、労働組合として「雇用の維持と労働条件維持、向上」「賃金は社会水準にキャッチアップするものであり、業績だけに偏重すべきではない」との意向を伝え、現状の利益水準と先々の見通しを踏まえつつ交渉を行い、妥結に至りました。賃

金以外の労働条件面では長時間労働是正(36協定の点検・インターバル規制制度の導入)、定年制度改定などについて統一的に要求し、今後の継続的協議として確認をいたしました。今後の変化に適正に対応し、会社の業績・生産性向上につながる取り組みにつなげていきます。



会長 石合弘二



◆労使による対話

「労使協議会」 「労使研究会」の開催

時

代環境変化に対応し魅力あるグループへ発展していくためには、健全な労使関係を構築し、課題に対し意識を共有し、継続的に対話を充実させていくことが重要です。労働環境改善や意識改革など働き方改革の実現を目指し、2月には昨年引き続き労連とセブン&アイ・ホールディングスによる経営労使協議会を開催し、取り巻く社会環境、労使が取り組むべき今後の課題整理などについて協議を行いました。また今年度初の試みとなる労使研究会の開催においては、グループの事業会社労使から300名の方々に集まりをいただき、『味の素労使様の取り組み』から労使協働による働き方改革・生産性向上への取り組みに理解を深めました。次年度はさらに充実した取り組みにつなげていきたいと思えます。

◆組織の強化と充実

組

合活動を推進し、組織の強化を図っていくうえで組合役員

リーダーの成長は必要不可欠です。今年度についても労連リーダースクールを開催し、新任コースについては第5期・第6期として、引き続き組合役員として必要とされる労働組合の基本や歴史と運動理念といった基礎知識をベースとしたカリキュラムでU Aゼンセン中央教育センター・友愛の丘で開催、中堅コースについては次世代を担う各組織のリーダーを対象に富士社会教育センターと連携し年4回のカリキュラムで開催しました。中堅コースの最終回は国内ステップアップセミナーとして、佐賀大学での産官民の取り組みによるA Iストアの視察や福岡の株式会社トライアルカンパニーが手掛けるスマートストアの視察などを行いました。また柳澤政治顧問による柳澤塾の開講や、専門的な知識・見識を掘り、各単組活動の推進を図ることを目的にダイバーシティ推進ミーティングを開催いたしました。取り組みの経過と置かれる環境を整理し、次年度への活動に継続していきます。

◆豊かな明日を目指して

今

年度は次期参院選の組織内候補予定者となる「田村ま

み」さんの支援活動を中心とした取り組みを推進。11月には労連全体での職場リーダー研修会を開催、「田村 まみ」さんの紹介や実現を目指す産業政策を共有し推進力を得ました。また、社会貢献活動としては福島・郡山の「ハートフルサタデー」や茨城・霞ヶ浦での「かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン2018ボランティア」に参加いたしました。各単組のボランティア活動の推進につながるよう、次年度以降も継続的に取り組んでいきます。

◆労連のスケール

メリットを活かして

私

たち組織のマンパワーは、組織規模だけでなく、活動・運動意欲を向上させ、交渉力の基盤となるものです。労連のスケールメリットを最大限発揮し、労連単組の枠を超えた活動に取り組みました。生産性向上運動の一環として、セブン&アイま

るごとキャンペーン2018を開催。グループ各社で買い物や食事をしてもらい、商品の良さや課題を今後の商売に活かすことが狙いです。応募総数は31,267件にのびりました。また今年度2年目を迎えたPumpkinフェスタ2018では、昨年からの反省や課題に立ち返り、活動をより発展的なものとして取り組めるよう準備を進め、「けん玉」競技を中心としたプログラム構成で企画を立案し、後楽園ホールにて開催をいたしました。当日はスタッフ・競技者・応募者で約1,000名の方々に集まりました。関わっていただいた全ての方々に感謝を申し上げるとともに、今後の加盟組合の新たな活動、組織としての成長につなげていただきたいと思います。



■ステップアップセミナー(海外)

日 時：2018年6月5日(火)～9日(土)

場 所：マレーシア・クアラルンプール

内 容：◆現地コーディネーターとのミーティング・事前学習
 ◆ Jason at Bangsar Shopping Centre 視察
 ◆ UNIクアラルンプール事務所スタッフとミーティング
 ◆ KUL(クアラルンプール) 日本人会 訪問
 ◆その他流通・小売店舗 視察
 ◆日本通運物流倉庫 通常倉庫とハラル専用倉庫 視察
 ◆世界遺産 マラッカ市内視察



目 的：(1)国際的な視点を醸成し、海外流通および経済・政治・文化事情を実感すると共に見識を広げこれを通じて今後の労働組合が果たすべき役割をそれぞれの視点で導き出すこと、そして自らが具体的な行動につなげていく。
 (2)環境変化著しい中、これまで以上に、セブン&アイ労連として連携強化および将来を見据えた労連としての人的な結びつきを強化する。



参加者：

| 組 織 名 | 氏 名 | 組 織 名 | 氏 名 |
|-------------------|-------|----------|-------|
| セブン&アイ・フードシステムズ労組 | 北山 淳 | そごう・西武労組 | 浜野真美子 |
| イトーヨーカドー労組 | 丸山 亮人 | 赤ちゃん本舗労組 | 下田 桂衣 |
| イトーヨーカドー労組 | 鬼沢 克彦 | ライフフーズ労組 | 矢走 直子 |
| イトーヨーカドー労組 | 滝澤めぐみ | ライフフーズ労組 | 浅川 真紀 |
| セブン&アイ・フードシステムズ労組 | 貝瀬 満男 | ロフト労組 | 中西 清香 |
| ヨークマート労組 | 高嶋 政明 | 労連 | 小鷲 良平 |
| ヨークベニマル労組 | 下平 暢邦 | | |



■第4回ダイバーシティ推進ミーティング

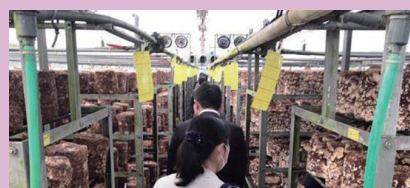
日 時：2018年6月19日(火)～20日(水)

場 所：株式会社テルベ(北見)

内 容：テルベ施設見学(印刷事業・椎茸事業)、ノーマライゼーション研修

参加者：

| 組 織 名 | 氏 名 | 組 織 名 | 氏 名 |
|-------------------|-------|-----------|-------|
| イトーヨーカドー労組 | 松川 将也 | そごう・西武労組 | 石川 優子 |
| セブン&アイ・フードシステムズ労組 | 秋山 ゆり | そごう・西武労組 | 宮川 拓也 |
| セブン&アイ・フードシステムズ労組 | 滝澤絵梨香 | そごう・西武労組 | 寺田 匡 |
| ヨークマート労組 | 高嶋 政明 | ライフフーズ労組 | 渡邊 克憲 |
| ヨークマート労組 | 水沢 直美 | ロフト労組 | 石森なぎさ |
| ヨークベニマル労組 | 高山 輝世 | シェルガーデン労組 | 花崎 敏江 |
| 赤ちゃん本舗労組 | 小村 猛 | 労連 | 小鷲 良平 |

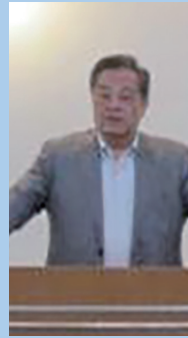


■第3回柳澤塾

日 時：2018年6月25日(月)～26日(火)

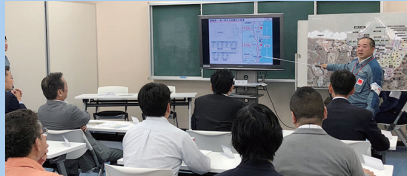
場 所：福島県・いわき市

内 容：(1) 特別講義『柳澤光美の労働運動③
エネルギー政策について・クライシスマネジメント』
(2) 福島第一原子力発電所 見学
(3) 東京電力労組情報交換 他



参加者：

| 組 織 名 | 氏 名 | 組 織 名 | 氏 名 |
|-------------------|-------|-----------|-------|
| イトーヨーカドー労組 | 渡邊 健志 | 赤ちゃん本舗労組 | 久我 康之 |
| セブン&アイ・フードシステムズ労組 | 三久保真司 | そごう・西武労組 | 寺岡 泰博 |
| ヨークマート労組 | 川上 孝司 | ライフフーズ労組 | 増子 勝幸 |
| 全丸大労組 | 曾山 高志 | ロフト労働組合 | 正中 志保 |
| サンエー労組 | 武山 玲子 | シェルガーデン労組 | 佐藤 大輔 |
| ヨークベニマル労組 | 吉田 晃一 | 労連 | 小鷲 良平 |
| 赤ちゃん本舗労組 | 中野 健治 | 労連 | 福本 良介 |



■第4回労連リーダースクール(中堅)兼ステップアップセミナー(国内)

日 時：2018年7月4日(水)～5日(木)

場 所：佐賀県・福岡県

内 容：(1) 視察学習『産官学連携による AIストアの視察 株式会社 OPTiM』
(2) 視察学習『日本初のスマートストアの視察 株式会社トライアル』
(3) 講義『小売り・サービス業の今後と私たちの働き方について』

参加者：

| 組 織 名 | 氏 名 | 組 織 名 | 氏 名 |
|-------------------|-------|-----------|-------|
| イトーヨーカドー労組 | 秋葉 雄太 | そごう・西武労組 | 浅海 教子 |
| イトーヨーカドー労組 | 大橋 憲二 | そごう・西武労組 | 石川 優子 |
| イトーヨーカドー労組 | 佐藤 洋一 | ライフフーズ労組 | 紺野美奈子 |
| イトーヨーカドー労組 | 中川 勇樹 | ロフト労組 | 中西 清香 |
| セブン&アイ・フードシステムズ労組 | 塩野谷浩介 | ロフト労組 | 曾根 裕司 |
| セブン&アイ・フードシステムズ労組 | 和田 真 | シェルガーデン労組 | 田島 愛菜 |
| ヨークマート労組 | 千田ゆき子 | 労連 | 小鷲 良平 |
| ヨークマート労組 | 三浦 郁子 | 労連 | 福本 良介 |



■Pumpkinフェスタ2018

日 時：2018年8月23日(木)

場 所：後楽園ホール

参加者：1,000名

団体戦出場チーム数(労連計84チーム)

| 組織名 | チーム数 | 組織名 | チーム数 |
|-----|------|------------|-----------|
| IY | 32 | AH | 3 |
| 7FS | 8 | SS | 8 |
| YMT | 6 | LF | 3 |
| MD | 1 | LFT | 3 |
| SAN | 1 | SHG | 2 |
| YB | 16 | 天満屋ストア | 1 |
| | | 労連計 | 84 |



当日のスケジュール

| 時 間 | スケジュール |
|-------|----------------------------------------------------------|
| 12:30 | 閉会式 |
| 12:45 | グループ No.1 熱闘! けん玉グランプリ 団体戦 準決勝① |
| 13:25 | スペシャルパフォーマンスショー けん玉パフォーマンスコンビ 「ZOOMADANKE」(ず〜まだんけ) |
| 13:50 | グループ No.1 熱闘! けん玉グランプリ 団体戦 準決勝② |
| 14:30 | 組合員さん〇〇自慢 SHOW① |
| 14:50 | グループ No.1 熱闘! けん玉グランプリ 個人戦 |
| 15:10 | グループ No.1 熱闘! けん玉グランプリ 団体戦 決勝戦 |
| 15:30 | 組合員さん〇〇自慢 SHOW② |
| 15:45 | 表彰式・閉会式 |
| 16:00 | 終了(予定) |



「せかワクぶっく」回収(寄贈)状況報告

労連全体で古本回収ボランティア「せかワクぶっく」活動を実施。集められた古本は「ポリオワクチン」として世界で苦しむ子供たちに送られる。当日も受付脇の特設スペースにて「古本回収」を行い、出場者、応援者、スタッフからも「古本」をご持参いただき、フェスタ当日もボランティア活動を実施した。



回収総数
10,678冊



セブン&アイグループ労働組合連合会 初代会長・特別顧問

故 埴 昭 彦 氏

ご冥福をお祈りいたします。

略 歴

| | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 1967年 8月 | (株)イトーヨーカ堂入社(青果売場担当) |
| 1970年10月 | イトーヨカドー労働組合結成発起人 中央執行副委員長 |
| 1973年10月 | イトーヨカドー労組中央執行委員長 |
| 1979年11月 | イトーヨカドー労連(現7&i労連) 会長 |
| 1982年10月 | 会社復帰 |
| 1983年 3月 | 首都東ゾーンマネージャー 兼 女子バレーボール部オーナー 兼 部長 兼 総監督 (1989年 現Vリーグ戦 全日本選手権大会優勝) |
| 1985年 5月 | 取締役オペレーションサポート部長 その後取締役食品事業部長 |
| 1991年 5月 | 取締役常務食品事業部長 その後取締役常務衣料事業部長 取締役常務営業本部長 |
| 1996年 5月 | 取締役専務営業本部長 その後取締役専務中国部長 11年間北京に住み、中国総代表 北京、成都に出店。 |
| 2007年 5月 | 7&iフードシステムズ 代表取締役社長 7&iホールディングス 取締役 |
| 2011年 5月 | 7&iフードシステムズ 代表取締役社長 退任 7&iホールディングス 取締役 退任 7&iホールディングス 取締役 顧問(2014年退任) |
| 2011年 7月 | (株)オフィスはなわ 代表取締役社長 一般財団法人 徳育経営研究所 理事長 7&i労連 特別顧問 |

イトーヨーカドー労働組合結成の発起人であり、セブン&アイグループ労働組合連合会(前イトーヨカドーグループヨーク労働組合連合会)の初代会長であられました。埴昭彦さんが7月12日(木)、肺疾患のためにご逝去されました。埴さんは、1942年2月12日生まれ、東京都出身。青山学院大学経済学部を卒業後、(株)イトーヨーカ堂に入社。その後労働組合の結成、労働運動に携わったのち、1996年には取締役専務中国室室長として成都イトーヨーカ堂を設立、また(株)セブン&アイ・フードシステムズにおいては代表取締役社長を歴任されるなど、労働組合、会社の発展に大きく寄与されました。これまでのご功績に敬意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

イトーヨーカドー 労働組合



2018年度の
活動を振り返って



2018年度は「IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」実現に向けてをスローガンに掲げ、活動に取り組んできました。労働組合の活動目的である「雇用の確保」と「労働条件の維持向上」を実現していく環境づくりとして「支部一組合の確立」と「支部労使協議制の確立」を活動推進の軸として、支部座談会や支部イベントの開催を通じて組合員の声を集め、支部労使協議会やゾーン労使協議会の場において声を届ける事で職場環境の改善に取り組みしました。こうした活動を通じ、「適正な労働時間で結果を出している人が正当に評価される」企業風土構築を進めてきました。



～就業に関する共通認識をつくる 「ゾーン就業確認会」の実施～

2018年度下期より就業時間内で仕事を終える意識の醸成と企業風土構築や支部労使での労務管理・衛生管理の源泉である「安全衛生委員会」の充実化を図る事を目的に各ゾーンの店長と支部代表委員長を対象に「ゾーン就業確認会」を開催しています。就業確認会の中では各店の就業実態の確認やあるべき安全衛生委員会の進め方のポイントの確認、労使の役割(支部代表委員長)の位置づけ等を共有し、労務管理に対する考え方の共通認識を持つことが出来ました。

2019年度に向けて



イトーヨーカドー労働組合として求められているのは「雇用の確保と労働条件の維持向上」「人・会社を動かす力(組織力)を高める活動」「厳しい業績の中で意識と行動の改革による組合員一人ひとりの成長」です。それを実現していくためにも活動の原点である支部組織の強化(支部一組合の確立)、事前労使協議制の確立を目指し、職場環境の改善や生産性の向上に向けて、社会環境を正しく捉え、労働組合が果たすべき役割・機能を再認識し、持続的な組織力を誇示することをベースにして2019年度も活動に取り組んでいきます。



セブン&アイ・フードシステムズ労働組合



第11期(2018年度)
の活動を振り返って

スローガン
「挑戦と行動、進めよう未来へ！」
組合員全員で「働きがいの
ある会社」の実現

組合結成10周年を迎えた第11期(2018年度)は、「挑戦と行動、進めよう未来へ！」組合員全員で「働きがいのある会社」の実現をスローガンに、「ワーク・ライフ・バランスの実現」「就業の改善」「労働条件の維持向上」の3つを重点に、様々な活動を進めてまいりました。



主に行った活動

組合結成10周年記念事業

結成10周年記念「感謝の集い」の開催



●2018年10月13日、第10回定期中央大会終了後に、結成10周年を記念した式典を開催しました。



結成10周年記念「オリジナルnanacoカード」の配布

●結成10周年を記念して、また組合活動へのご協力に対する感謝の気持ちを込めて、オリジナルnanacoカードを製作し、組合員全員へ配布を行いました。



労使での取り組み

全営業部との「労使懇談会」を開催

●「安全・安心」「働きやすさ」をテーマに、全営業部(アニーズ、給食、セブンス、イレブン、ファミール、ポッポ、専門店)との労使懇談会を開催。現場での実態や課題、組合員の悩みについて意見交換を行いました。



年2回5日以上連続休暇取得促進

●労使での取り組みとして、ナショナル、エリア、契約社員の年2回5日以上連続休暇の取得推進を行い、2017年度は全社員が取得しました。2018年度は7日以上連続休暇に挑戦しています。

組合会議

パートナース社員、契約社員を対象に座談会を各地域で実施

●契約社員、パートナース社員の皆さんから労働条件について意見、要望を聞き会社へ伝えるために、各地域(東京、神奈川、埼玉、愛知、大阪)で座談会を開催しました。

地域別「組合員集会&ランチビュッフェ&けん玉グランプリ」を開催

●営業部を超えて組合員同士が交流し、より多くの組合員の声を集めるために、支部毎に行っていた組合員集会を全国15ヶ所で開催しました。合わせて、ランチビュッフェとけん玉グランプリも同時開催。



他労組との「合同中央執行委員会」の開催

●18年4月13日、丸亀製麺などを運営されているトリドール労働組合様と合同で中央執行委員会を実施し、同じ外食で働く仲間同士で活発な意見交換を行いました。



共育、セミナー

「海外外食視察セミナー」の実施

●2018年5月14日〜19日の期間、アメリカ合衆国(ロサンゼルス、ラスベガス)にて海外外食視察セミナーを実施。現地外食企業の事業戦略や働き方事情、最先端システムの利便性を体感しました。



田村さん、川合議員、柳澤政治顧問をお招きして「政治研修会」を実施

●2018年6月21日、参議院議員会館にて組合役員109名が参加して政治研修会を実施。田村まみさん、川合孝典参議院議員の活動報告と柳澤光美労連政治顧問のご講演、国会見学会を実施しました。





「年間活動報告」

《働き方改革の推進》

(1) 辻堂大平台モデルの推進

「ムリ・ムダを洗い出し、作業オペレーションを改革する事によって、適切な労働環境を整えて人時生産性をあげていく」
辻堂大平台店で実践された生産性向上の取り組みを推進



春のバスハイク

(2) 労務管理評価制度の導入（一時金）
(3) 半日有休の導入（12月よりスタート）

有給休暇を取得しやすくし取得率をあげる

(4) 本部社員の時間管理スタート

（3月よりスタート）

長時間労働の是正、会議体・業務の見直し

(5) 未消化休日の精算スタート

年間休日100%取得をめざす

(6) 嘱託パートナー社員の待遇改善

- ① 曜日・時間帯加給の支給
- ② 一時金の支給

(7) 育児復職者オリエンテーション

(ママミミ)

2月、8月労使共催で実施。多様な人材が活躍できる職場を考える。

《教育活動》

アンガーマネジメント研修

（支部役員・新人組合員）

《コミュニケーション活動》

秋のバスハイク 10月～11月

防災館&スカイツリーツアー 2月

大相撲観戦ツアー 5月・1月

春のバスハイク 6月

ディズニーパークファンパーティー 6月

プロ野球観戦 7月

地曳き綱 8月



地曳き綱



結成支部

- ・小豆沢支部 3月
- ・所沢花園支部 5月

解散支部

- ・玉村支部 1月



ラフティング

2018年度は『ワークライフ バランスの実現！』

「企業の成長、発展」と「個々の生きがいや働きがい」の実現を目指す！をテーマに掲げ、組合活動に取り組んで来ました。



1、対話活動

「組合員の声を聴き、働きやすい労働環境の実現！」に向け、各支部で「オフタイム交流会」を開催してきました。組合員の声を聴き、組合員が抱えている「労働環境や売場の課題」を抽出し改善に向け取り組んで来ました。



2、就業

「ワークライフバランスを推進し就業改善を実現！」を目指し、就業実態からの課題協議と意識改革、就業ルールの遵守と不正就業の撲滅の為、毎月開催の安全衛生委員会課題や改善策を労使で協議し、組合員へ情報共有してきました。また、パートナー社員の年次有給休暇取得促進に向けた制度を導入し、周知の徹底と取得に対しての部門格差の是正も行ってきました。



3、教育

「教育活動の活性化を図り、組織強化と個々のレベルアップ！」を実現するため、上部団体開催のセミナーに参加したり、今年度は単組独自でセミナーを企画し開催しました。テーマは接客や従業員同士の挨拶に役立つように「笑顔で行動できるポジティブ実践法」でした。参加型の講義で受講した方からはとても良い評価を頂きました。是非、売場で生かして頂きたいと思えます。



4、文化レクリエーション活動

6月にバスハイイクを開催しました。今回は2コース設定（県内コース・糸魚川・能生、県外コース・長野）で計画し、約100名の参加を頂きました。また、労連単組のロフト労働組合様からも3名のご参加を頂きました。



また、繁忙期を前に同じ店で働く組合員が心を一つにして頑張ろうという意味合いの「支部がんばろう会」も各支部で行い、大変盛り上がりました。

5、柏崎支部解散式

8月19日にイトーヨーカドー丸大柏崎店は、惜しまれつつ37年間の営業に幕を閉じることとなりました。

これまでの業務や組合活動に感謝の意を込めて、柏崎支部解散式を柏崎店内にて開催いたしました。

当日は100人を超える組合員の方々に参加頂きました。



サンエー 労働組合



セブン&アイ労働定期大会

ンエー労働組合」の面々は小さい組織ながらも地域のお客様を大事にしながら、地域密着、地場仕入れでの地域商品の品揃え導入、地元文化地元の食べ方を提案しサンエーらしさを出しながら、地元で近隣に多数ある競合店の中から、サンエーを選び、安心してお買い物に来てい

セブン&アイ労働の各単組の皆さま、日々の労働組合の諸活動、大変、お疲れ様でございます。早いもので今期の労働組合の活動も1年が経過しようとしております。相変わらず我々「サ

ただけのお店作りを目指して営業しております。そんな中、今期のサンエー労働組合の諸活動を振り返りました。

9月には「第39回セブン&アイ労働定期大会」に3役が出席させていただきました。10月には「第6回 U A センセン宮城県支部定期総会」ここでは来年の参議院議員選挙に我々、流通の代表として立候補する、田村まみさんとお会いする事ができて握手を交わし、激励の言葉を掛けさせていただきました。あと10月はヨークベニマルさんの主催する「第50回 ハートフル」の献血にも参加させていただきました。50

回を迎える歴史ある献血イベントなので自単組からも参加人数を増やし、献血に協力させて頂きました。そして「第32回サンエー労働組合定期大会」を石巻労働会館にて開催。夜間開催ながらも30名の組合員の皆



ハートフル



メーデー

さまに出席して頂きました。5月、石巻総合体育館にて「第89回メーデー」開催。サンエー労働組合からは6名が参加。石巻の各企業の労働組合の方たちと想いをひとつに團結を固めました。



BBQ&ボーリング大会



運動会

「パンピングフェスタ」に参加。サンエー労働組合とイトーヨーカドー石巻あけぼの支部の代表を選抜し、9名が「後楽園ホール」に集結し、けん玉選手全員が全力で競技に

5月下旬にはブロックイベントの運動会に参加。東北の各支部の方たちと交流し運動会競技で楽しく、汗をかきました。7月には支部イベントで「BBQ&ボウリング大会」開催で楽しい時間を過ごしていただき、日頃の営業、業務の疲れを癒し、明日からまた頑張ろう！という気持ちで心身ともにリフレッシュ！そして8月のセブン&アイ労働の最大イベント

臨みました。今回「パンピングフェスタ」に参加した全員がこのフェスタを目の当たりにして「セブン&アイ労働」の団結力と組織の強さを再認識。「楽しかった」「また来年も行きたい」という声も頂き、もっと自単組の組合員の皆さまにこういった労働組合の諸活動に積極的に参加して頂きたいと強く感じました。

今期を振り返り、少数で小さな組織ですが、小さい組織だからこそ働いている組合員の声を聞き、コミュニケーションを通じて、組合員全員が気持ちをもっと一丸となりもともと強い組織、強いサンエー労働組合に成長していけたらと願います。



パンプキンフェスタ

今期の活動を振り返って

2018年度、ヨークベニマル労働組合は「なかまと歩む、きずく未来(あす)へ」ゆとり・豊かさ・生きがいの実現」の方針を掲げ、様々な活動に取り組みました。今期も組合結成40周年に策定した中期ビジョン2020「毎日が楽しい！笑顔と感謝の気持ちにあふれ、仲間と一緒にチャレンジしている」というありたい姿へ近づくために、3つの活動を取り組んできました。

まず一つ目は「きずく活動」であります。一人ひとりが働きやすい環境作りを実現するために、昨年に引き続き「ワーク・ライフバランスキャンペーン」を実施し、私たちの働き方を変えるきっかけ作りを行いました。また、支部長会議において私たちの働く環境を変えるために『何が必要か、何を変えていかないといけないのか』をテーマに議論を重ね、私たちがやるべきことを共有しました。次

に「つながり活動」においては、なかま同士の絆やつながりを深める全ゾーンで運動会の開催、そして社会とつながるボランティア活動、また政治を身近に感じるために国会見学を実施しました。三つ目は「みのある活動」であります。育児・介護、健康などをテーマにした各種セミナーや組織強化としてユニオンリーダーセミナーの開催など、自己実現と組織強化を目指した活動を進めて参りました。

社会環境は日々変化しながら、慢性的な人員不足による私たちの働く環境は依然として厳しさを増す中で、私たちの綱領にある「ゆとり・豊かさ・生きがいの実現」を目指していくことには変わりはありません。そのためには、前向きな気持ちを持ち、一歩踏み出す勇気とチャレンジが大事であります。

「この会社で働いて良かった」「この会社で働いてみたい、働きつづけたい」と思えるよう、第44期はなかまの想い(声)を聴く世話役対話活動を軸に、一人ひとりが参画する活動を進めて参ります。次年度もそれぞれの組合活動と労連の活動を盛り上げて行きましょう!!

活動を進めて参ります。

活動を進めて参ります。



ヨークベニマル
労働組合



仕事はイキイキと!!

生活はキラキラと!!

きずく活動

今年度も働き方は今期の最大のテーマになりました。

様々な条件や環境の変化から、働き方を変えることの難しさにがあり、なかなか実感を伴わないものであります。しかし、何も行動を起こさなければ何も解決しません。そのためには一歩踏み出す勇気とチャレンジが大事であります。そして、充実した生活につながるよう、来期もがんばるぞー

自ら考え、行動を起こし、
みんなで知恵を出し合い
新たな働き方へ!!



支部長会議にて、各ブロックごとに分科会の実施。私たちの働き方について、真剣に議論。

重太みゆき 氏セミナー



笑顔の大切さを学び、毎日の仕事も生活もイキイキと!!



仕事はイキイキと、生活もキラキラと輝くために!!
セミナーや座談会の開催!!

みのある活動



今年も大盛況!!全ゾーンで大運動会の実施!!



地域とつながる活動!!ボランティアやお祭り参加

つながり活動

赤ちゃん本舗 労働組合

「2018年度単組活動の
振り返りおよび2019年
度活動に向けて」



全員参加く新たな第一歩へ

赤ちゃん本舗労働組合では、今期「全員参加く新たな第一歩へ」様々な取り組みにチャレンジしてきました。特に今年度チャレンジした代表的な1つが、『支部執行委員会』です。今年度の支部執行委員会は、立ち上げたばかりでしたが3か月に1回のペースで計3回開催することができました。



立ち上げた目的として、今までは中央執行委員会からのトップダウンで課題に取り組んできましたが、これからはトップダウンからボトムアップの組織体への変更することによりダイレクトコミュニケーションに繋がり自単組の組織強化と活発化になると考えたからです。

また、長期的な視点でより良い労働組合を目指すため、次世代の中央執行委員へとつなげるため、支部長を中心とした賃金や会社制度の勉強会といった教育的要素を加えながら、課題の共有や田村まみの入会活動に邁進しました。

また、労連活動にも積極的に参加し、2018年パンプキンフェスタでは2組のけん玉チームが参加をしました。単組活動では体感できない、スケールメリットを体感することができたり、なかなか他の組織と交流する機会がでないところ、パンプキンフェスタを通じてたくさんの方にお話しさせて頂くことができました。

来期の活動としては、引き続き、支部執行委員会を通じた自単組の強化と長期的な観点にたった組合員の育成に取り組むとともに、組合員の声の集約を行ない、店舗の課題や問題に対して組合員全体で解決に取り組んでまいります。また、労連活動にも積極的に参加を行い、自単組のレベルアップを図ってまいります。



そごう・西武 労働組合



今期の活動を振り返って

第14期スローガン

みんなで話そう 行動しよう
一人ひとりが 仲間のために

そごう・西武労働組合の第14期は、「一人ひとりが能力を最大限発揮し、前向きに働くことができる職場環境づくり」を重点に活動を進めました。

春の労働条件改定においては、「社員がやめずに働き続けられる」「生活や将来に希望が見える」といった社員がイキイキと働ける環境づくりを目指し、契約社員（社員Ⅱ）に対しての確定拠出年金導入や、有給取得拡大、ストック有給休暇制度の使用事由拡大などを実現する事ができました。

また労働組合の活動に対する理解・促進を目的に、入社5年目研修や新入社員研修、若手社員による中期政策を考える会などを開催し、今後の組合活動の基盤づくりを進めてまいりました。

各支部では、まず現場の声を聞き、聞いた声を事業所の幹部や経営層に伝えることを重点活動に据え、職場の意見を組合役員が直接聞く「1人が10人の声を聞く活動」や組合員全員と接点を持つことを目的としたランチを提供しての「全員懇談会」を開催し今までにはない多くの組合員の方と接することができました。他にも同じ境遇にいる仲間を集めての意見交換の場（育児休職者・出向者懇親会）を頻繁に設けるなど、より職場との一体感醸成を目指した活動を行ってまいりました。また、ニューヨーク海外流通視察セミナー、八ヶ岳高原ロッジ清掃などの取り組みを通じ、支部を超えた組合員同士の交流を深めました。

流通産業政策実現への取り組み

今期は、支部役員も労連主催の職場リーダー研修へ参加するなど、U A センセンが進める流通産業政策を理解する場面づくりに取り組みました。また、組合

員とも流通小売業の魅力向上に向けた理解促進を継続して図ってまいりました。

第15期へ向けて

夢のある将来を

描くために行動しよう

来る第15期は、労働組合としてやりがい・働き甲斐を高めながら個人が最大限の力を発揮できる環境を作ることが重要と考え、これまで以上に当社の利益創出を意識した活動を進めてまいります。とりわけ売場や各事業所で起きている事実を話し合い、話した内容や意見を経営幹部に伝え一つひとつ課題を解決していくための労使協議を行うことで働く仲間のやりがい・働き甲斐を高めていきます。





今年度単組活動の振り返り

今期のスローガン「志をひとつに未来を築こう」をもとに、ライフフーズ労働組合は1年間組合員さんとともに活動して参りました。

各専門委員会

◆労働条件検討委員会

・賃金、労働条件において昨年の状況の把握と各グループの情報共有しながら、特に今回はグループ統一でインターバル規制の導入の要求が行われました。ライフフーズにとって、お客様に喜んでいただける売り場つくりのため、繁忙期のインターバ



ル規制導入はとても厳しい要求となりましたが、労連からの助言や賃金合宿での中執の意見などを踏まえ、これからの働き方改革を進める上で重要事項とし要求にこぎつけましたが、今回は来期スタートを目標にと妥結には至りませんでした。しかし会社側もインターバル規制導入は前向きにとらえ、来期実現を目指し労使で協議という形で現在進行しています。これだけではありませんが、今後も組合員さんが働きやすい、ずっと働きたいと感じていただける会社となれるよう、労使で協議し、実現させていきたいと思っています。

◆教養向上委員会

・教育・教養の向上そしてワークライフバランス（仕事と私生活の両立）で時間の有効活用の推進のため世代別・スキルアップセミナーを委員会



で吟味し各大会、支部長会議等で開催、パンピングクラブのサービスマナーを委員会から受けられる・役に立つ、そして今後自身に活かしていただける活動をしてきました。毎回終了後にアンケートをとり、要望にもできる限りお答えし次回の開催に活かせるようにしています。来期も今期以上の活動が出来る環境作りをしていきます。

◆キャリアアップ委員会(女性活躍推進)

・次世代労働組合リーダーの発掘と育成を目的とし、組合にもっと興味を持ってもらいたい思いで、今年はいズニートリゾート1泊のバスツアーを開催(2日目はイオンモール幕張の見

学兼お買いもの等)。参加された組合員さんには、他店の方々との交流と日頃の疲れを癒しリフレッシュしていただきました。予算が組めれば毎年の開催も検討しています。ここでの声

◆ボランティア推進委員会

・地域での社会参加、上部団体を通したコミュニケーションを目的として活動して参りました。毎年恒例の秋のハートフルサタデーへの参加、そ



して今年も単組で動けるボランティア活動も実現し、これを5年、10年と継続できる体制を作っていきたいと思えます。もちろん他労組開催のボランティアもできる限り積極的に参加していきます。

◆スピナシア委員会

・専門委員会の活動の見える化を毎月1回組合員さんへ届けているのが、機関誌スピナシア。随時各専門委員会とのコミュニケーションを掲載内容の吟味、組合活動がいかに読みやすく、分かりやすく、伝わりやすくのおもいで発行しています。来期も今期以上の内容の濃い掲載を目指していきます。



◆政治活動

・この1年ライフフーズ労働組合では、この活動で始まったといっても過言ではないでしょう。田村まみさんを知っていたため研修会、各セミナー、大会などで欠かさずDVDや冊子などで案内してきました。また、入会活動・署名活動は組合員さんの理解・協力のもと進行中です。この活動で一層の組織力が強まったのではないかと思います。この組織力を継続し来年の夏にいい結果を残せるよう悔いのない活動をしていきます。

来期19年度へ向けて

来期は、なにおいでも政治活動が大前提となります。労使で解決できない問題を国政へ託すために組織内の代表「田村まみ」を国政へ送らなければなりません。これに賛同していただけるよう、中央執行委員・特別中央執行委員・ゾーン議長・支部長の協力を得ながら組合員さんに理解納得していただき気持ちのひとつにして臨みたいと思います。

ライフフーズは昨年組合結成30周年、今期記念式典を終え40周年に向かって歩き出しています。

今後も組織強化のために若手の育成そして高い信頼関係を目指し、労働組合はなくてはならない組織と位置づけられるよう、日々邁進してまいります。今後とも宜しくお願いいたします。





2018年度の
活動を振り返って

2018年度、ロフト労働組合の第15期は「未来作りに火を灯す」をテーマに4つアクションプランの実践を目指して活動して参りました。アクションプランは「夢の実現」、「自己成長」、「和を広げる」、「絆を深める」をキーワードに、新人からベテランまで、幅広い多くの組合員に参加・参画感をもってもらいながら納得してもらえるよう取り組みました。



石合会長、安藤社長をお招きした
第15期定期大会



ロフカル進化系 内海取締役による講義「ロフトの未来」

- 1 ブロックミーティングは年間3回の開催を4回に増やし、今まで以上に組合員の声を聴ける機会を設けたことで、春季労働条件改訂交渉にて「パケーションサポート手当の新設」や「ひとり親支援」等、安心して長く働くことを支援する制度の拡充に繋げることができました。
- 2 前期からスタートした「ロフトカルチャーボックス」は会社の取締役からの講演や、組合役員自身の講演等、様々な視点で成長機会を提供しました。
- 3 より分かり易く組合活動伝える為ホームページのリニューアルに着手



例年大好評!! JAL工場見学



レクと座談会の融合「ロフトーク」&「劇団四季鑑賞」



第2回臨時大会にて
田村 まみさんと共に



15周年記念誌「ろふぼん」

「コト」にフォーカスしたホームページとなりました。新たに座談会とレクリエーションを融合した「ロフトーク」や、15周年記念誌「ろふぼん」の発行等、組合員が繋がる機会を増やしてきましたが、全国に広がる店舗の組合員に行き届いたものにはなっていないと実感しております。労働組合の活動に正しい答えはないと思いつつ、それでも、ロフトの形に合ったものを模索して挑戦していきました。結果として今のロフト労働組合は以前よりも期待されるようになったと実感しています。

次年度は、組合員、会社の双方から期待され、それが、信頼に変わるように、「出来ていない」、「足りていない」ことを修正、改善しながら、期待される「新しいこと」にも積極的にチャレンジしてまいります。その結果、多くの組合員が参加した組織となるよう取り組んでいきます。



【第15期活動報告】

シェルガーデン労働組合では第15期の活動テーマを『強固な組織力で組合活動を盛り上げよう!!』と定め、労連方針を基軸に活動してまいりました。会社との協議の強化、組織力強化に向けた能力開発活動、コミュニケーション活動を遂行してまいりました。

■労使での取り組み

①経営協議会を17年11月、18年3月、6月の3回開催しました。18年度労働条件交渉では、若年層の雇用の強化を見据え、高卒相当初任給、短大卒相当初任給を10,000円引き上げ、また大卒相当初任給の1,000円引き上げを要求し、満額での回答となりました。また、働き方の多様化を受けて、本社員、パートナーの定年延長を要求しました。多項目の議論が必要なことから継続協議とな

りましたが、60歳以上の契約パートナー社員の給与体系の見直しにより、従来の59歳時からの減額はなくなり、賃金改善につながりました。

②人事制度プロジェクトでは、組合からは勝木委員長がプロジェクトメンバーとなり、定年制度の改訂、役員における資格ランクの明確化などを協議しています。今期は基幹店店長の資格ランクの位置づけの制定、ショップマスターの廃止(店長への昇格)などの成果がありました。

③時間管理委員会では、組合からは勝木委員長、鳥羽田書記長、佐藤隆馬執行委員の3名が委員となり、協議してきました。三八協定の遵守確認、年次有給休暇取得義務法の法整備に伴う過年度分の未消化休日の消化促進など、会社と協働し改善していくことができました。また、職場環境改善に向けた調査を全社員を対象に実施しました。全社として取り組む課題、個店課題を明確にしてフィードバックしました。この調査は定例で実施していきます。

■労連活動への参画

勝木委員長が労連副会長、鳥羽田書記長が中央執行委員として労連活動を主体的に運営してまいりました。また労連執行部も柳沢政治顧問による勉強会・浪漫塾に佐藤副委員長を派遣、ダイバーシティミーティングに花崎執行委員、役員リーダースクールに田島執行委員、齋執行委員を派遣しました。また、パンプキンプフェスタにはスタッフとして職場委員を含む8名を派遣しました。

■社会貢献活動

福島・郡山での献血活動・ハートフルに2名を派遣し、スタッフとして会場を盛り上げました。また、パンプキンフェスタでの古本回収活動では全店で250冊を超える回収実績がありました。

■コミュニケーション活動

6月にロフト労組主催のディズニー・ファン・パーク・パーティに30名が参加し、交流を深めました。また、7月のバスハイクでは36名が参加し、栃木・足利のココ・ファームワイナリーを中心に視察を行いました。

【8月組合役員会開催報告】

と き：2018年8月2日(木)
13:30~17:00
と ころ：エデュカス東京 5階会議室



直近の労使協議(経営協議会、時間管理委員会)の報告、6月実施の国会見学会を踏まえた政治関連の取り組みの確認を行いました。また花崎執行委員からは、グループ企業のテルベ(北海道北見市)の事業を視察して、障がい者を雇用するうえでの好事例報告、またダイバーシティミーティングメンバーとして、今後

【コミュニケーション活動報告】

労組として取り組むべき課題などの報告がありました。役員会の後半では総務部人事マネジャーを講師に、労務管理の勉強会を行いました。有給休暇取得義務化など社会情勢の変化を受けた会社対応、健全な職場環境づくりとして、パワハラ防止に向けた会社の取り組みについて説明をいただきました。

と き：2018年7月17日(火)
視察地：武州中島紺屋(埼玉・羽生市)
ココ・ファームワイナリー(栃木・足利市)
ガトーフェスタハラダ(群馬・高崎市)



恒例のバスハイクを実施し、36名の方が参加しました。東京、神奈川、埼玉、千葉の各都県の各店舗から組合員が集いました。お取引先様のココ・ファームワイナリーの見学など参加者の興味を引く視察を中心に実施しました。移動中には『ガーデンあるあるクイズ』で勝ち抜き選を行い、盛り上がりました。気温40度に至る猛烈な暑さの中でしたが、楽しい思い出を作ることができたと感じています。

2019年度の活動に向けて

共に 未来へ

40年目の節目を迎えるにあたって

生産性人口・働き手が減少する中、テクノロジーは飛躍的に進化し、グローバル化の進展による激しいコスト削減、低価格競争や規制緩和、大量生産・大量消費から、質的に発展する経済・社会への転換により、業界再編(企業の統合・提携)が加速的に進み、生き残りをかけた競争が一層激しくなっています。私たち労働組合はそういった変化に備え、常に新しく、そして正しい認識をもって適応し、近い未来を見据えた活動に取り組んでいかなければなりません。これから訪れる近未来は私たち自身の経験と知恵で自ら創造していくものです。

これら直面する課題、中長期的な問題に対峙していくためには、企業労使、その枠組みを超えた『グループ労使による対話』が何より重要となってきます。そしてどれだけ時代が移り変わっても決して変わらないことは、常に現場と向き合い、発想し、提案し、実践していくことです。私たちセブン&アイグループ労連のスケールメリット(60,000名を超える組合員規模)を活かした活動を推し進め、本来的な企業別労働組合としての役割と責任を果たしながら、守るべきものを守り、従前からの考え方を継承しつつ、内向きになりすぎない幅広い視点をもって、これから起こり得る環境変化に柔軟に対応していきたいと思えます。

40年目を迎える2019年度は、今日までの取り組みを踏まえ、また今後想定される環境変化に対応する活動を計画・推進し、今までもこれからも労連に集う組織、組合員と共に歩みを進めていきます。みなさんの引き続きのご理解とご協力、積極的な活動の推進をよろしく願いいたします。



セブン&アイグループ労働組合連合会第40回定期大会 開催

と き:2018年9月27日(木) ところ:東天紅 上野店



Vol.20 平成30年9月26日発行

東京都千代田区二番町 8 - 8 (03) 6238-3941 発行人／石合弘二 編集人／小鷲良平